

TOKIO PRO

取扱・組立説明書

この度は当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、末永くご愛用いただきますよう、お願いいたします。お読みになったあとは大切に保管してください。

警告

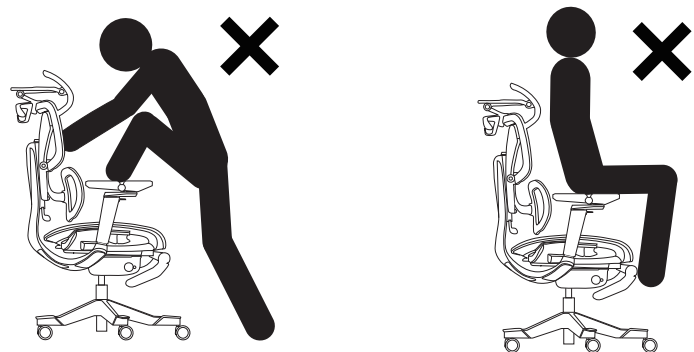
- 滑りやすい床面で使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ガスシリンダーは分解、注油しないでください。爆発してけがをすることがあります。
- ガスシリンダーは火に入れないでください。爆発してけがをすることがあります。
- 廃棄するときは専門業者にお任せするか、購入店へご相談ください。焼却すると有毒ガスが発生することがあります。

注意

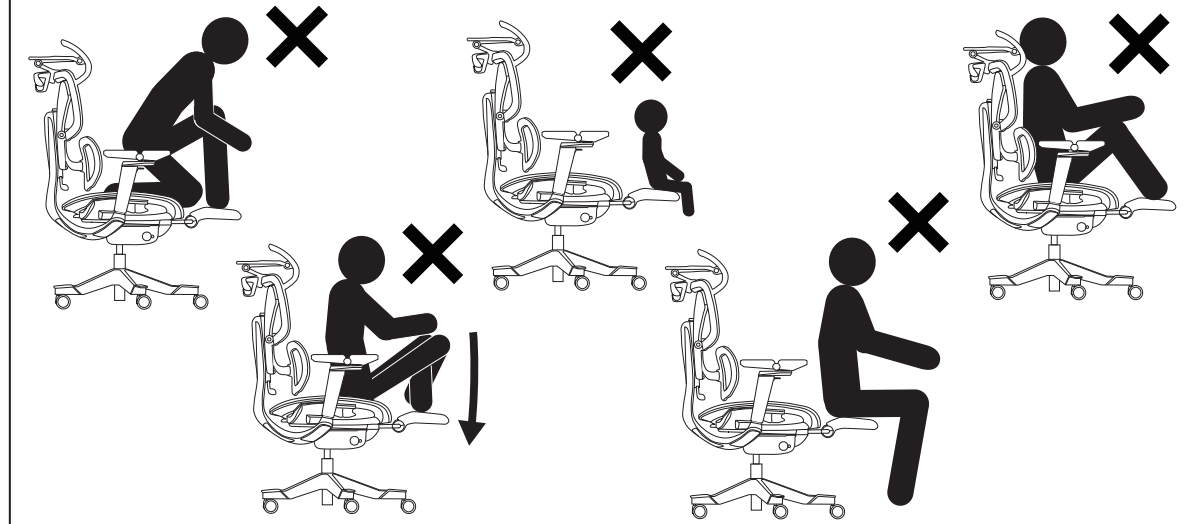
- 本来の用途以外では使用しないでください。けがをすることがあります。
- 火のそばに近づけて使用しないでください。火災になることがあります。
- 直射日光、熱の当たる場所、暖房器具の近くでは使わないでください。また、湿気、乾燥の著しい所も避けてください。変色や変形することがあります。
- この製品は屋内用です。屋外、水のかかる場所、水中では使用しないでください。故障やサビの原因になります。
- 可動部のすきまに手や指を入れないでください。はさんでけがをすることがあります。
- 周囲に注意して回転させてください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 座面の上に立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 背に座らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 座面の先端や逆向きに座らないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 必ず一人で座ってください。二人以上で座ると、転倒したり壊れてけがをすることがあります。
- 張り地やクッションが壊れたまま座らないでください。けがをすることがあります。
- 幼児を一人で座らせないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 座面に物を乗せて台車代わりに使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- ボルトが緩んだまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 異常を発見したまま使用しないでください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- 分解や改造をしないでください。破損してけがをすることがあります。



- 肘に座ったり、立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。

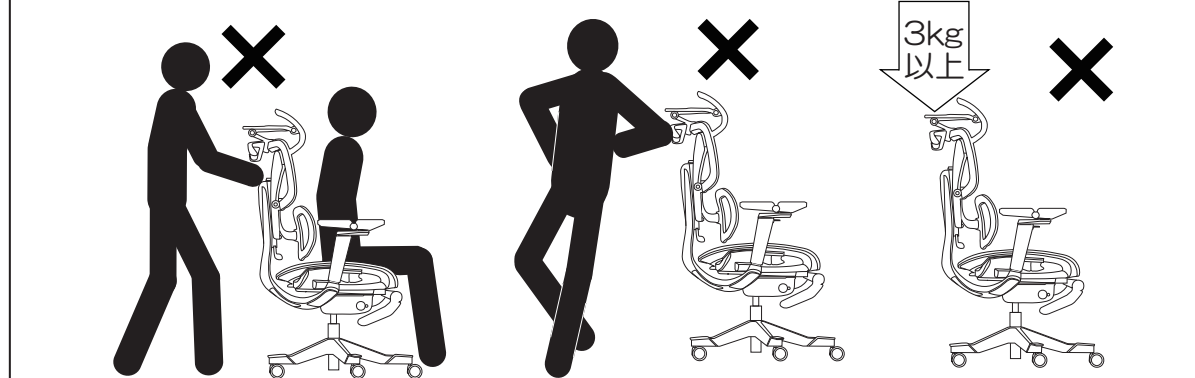


- 周囲に注意してフットレストを引き出してください。本体が壊れてけがをすることがあります。
- フットレストに座ったり、立ち上がらないでください。転倒してけがをすることがあります。
- 幼児をフットレストに座らせないでください。転倒してけがをすることがあります。
- フットレストに物を乗せて台車代わりに使用しないでください。転倒してけがをすることがあります。
- フットレストを出した状態で旋回しないでください。周囲の家具や壁、人などにぶつかって、破損する恐れがあります。

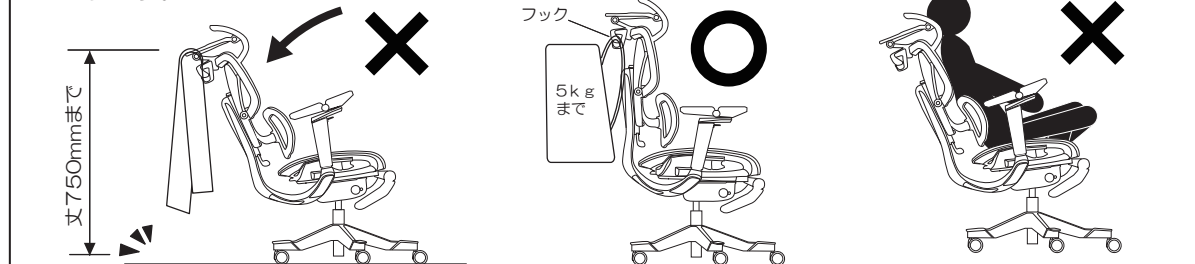


- ハンガーにぶら下がる、寄りかかるなどの行為は絶対にしないでください。転倒や破損をしてけがをすることがあります。
- ハンガーの上には飲食物などを置かないでください。落として汚れたり、破損することがあります。
- 人が座っている状態でハンガーを持って移動しないでください。破損してけがをすることがあります。
- ハンガーを持って移動しないでください。転倒や破損することがあります。
- ハンガーには衣類以外の物を掛けないでください。転倒や破損することがあります。
- ハンガーに衣類をかけた状態で、ハンガーを持って乱暴に引き回したり、急発進や急停止をしないでください。転倒や破損することがあります。
- ハンガーには3kgを超える負荷を掛けないでください。転倒や破損することがあります。

注意



- 背もたれを倒した状態で、ハンガーに丈750mmを超える衣類やカバンを掛けないでください。衣類がキャスターに巻き込まれたり、転倒や破損することがあります。
- 着座時に背に勢いよくもたれたり、背を傾斜した状態で後方に過度な負荷を掛けないでください。バランスが崩れて転倒することがあります。
- フックに5kgを超える物を掛けないでください。転倒や破損することがあります。
- ハンガーとフックに同時に5kgを超える物を掛けないでください。転倒や破損することがあります。



警告

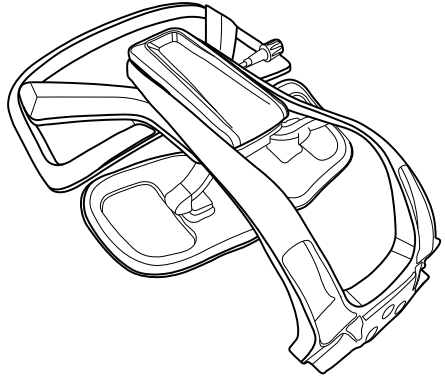
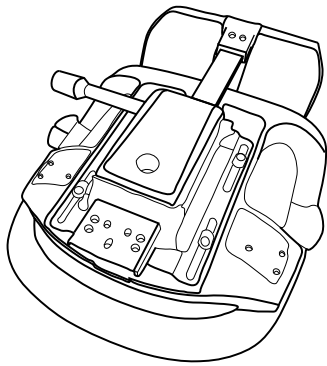
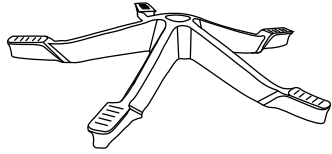
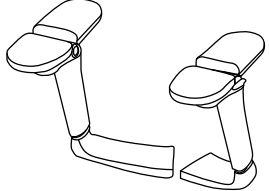
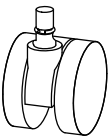
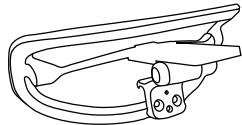

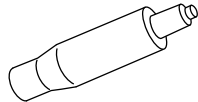
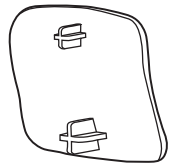
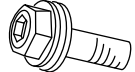
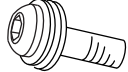

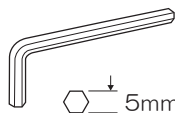
この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、死亡または重傷を負う可能性があります。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをしますと、傷害または物的傷害が発生する可能性があります。

部材・部品一覧表

●組立前に部材・部品をご確認ください。

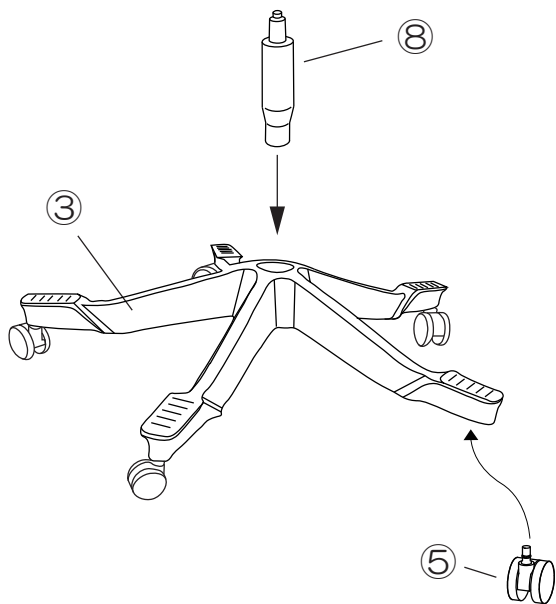
①背：1個 	②座：1個 	③5本脚：1個 	④肘：LR各1個 	
⑤キャスター：5個 	⑥ヘッドレスト：1個 	⑦ハンガー：1個 	⑧ガスシリンダー：1本 	⑨カバー：1個 
⑩固定ボルトA M8×25：3本  ※バネワッシャー・ワッシャー組込済	⑪固定ボルトB M6×20：6本  ※バネワッシャー・ワッシャー組込済	⑫固定ボルトC M6×40：2本 	⑬六角レンチ：1本  5mm	

組立方法

- 組立の際は万が一に備え、軍手を着用していただくようお願いいたします。
- 組立の際に背・座に汚れ・傷などが付かないように保護してください。
- 組立は1人でも行えますが、2人以上での組立の方がより安全です。

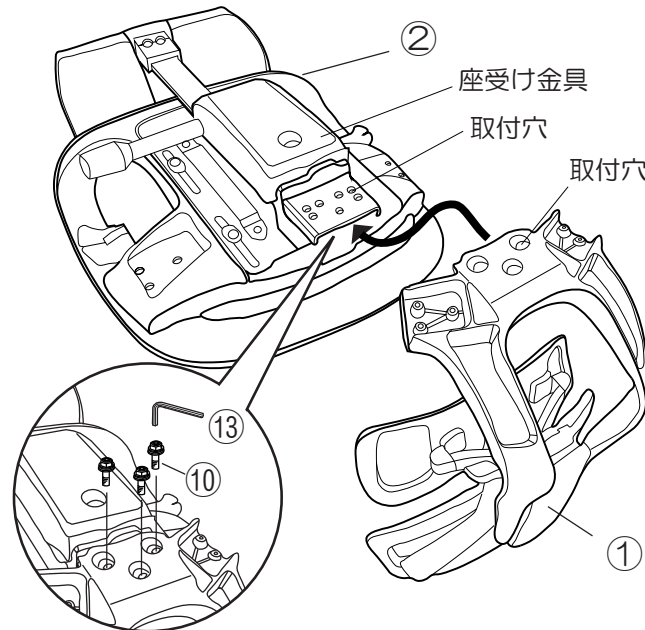
手順1 脚を組み立てる

③5本脚の脚先にある穴に⑤キャスターを差し込んでください。⑤キャスター5個を差し込んだら、⑤キャスターが平らな場所に設置するように置き、⑧ガスシリンダーを③5本脚の中央にある穴に差し込んでください。



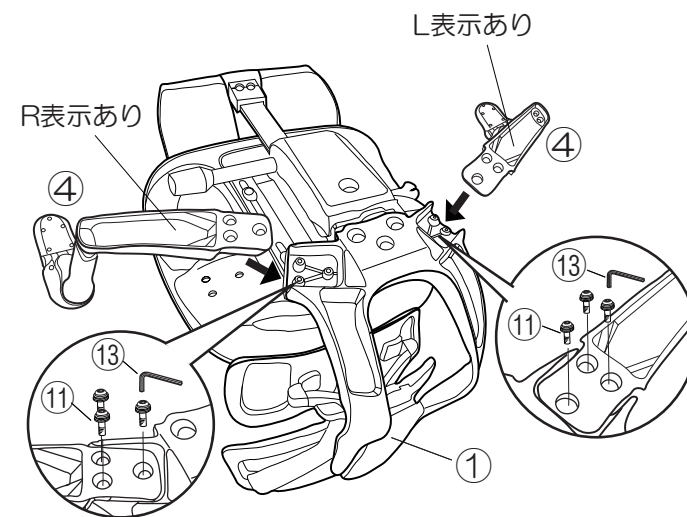
手順2 背と座を組み付ける

②座を平らな台に裏向きにして置き、①背を②座の座受け金具後部に差し込み、取付穴を合わせてください。合わせた穴に⑩固定ボルトAを差し込み、⑬六角レンチで3箇所仮締めした後、本締めしてください。



手順3 肘を組み付ける

下図のように①背の取付穴に④肘の穴位置を合わせます。合わせた穴に⑪固定ボルトBを片側3箇所差し込み、⑬六角レンチで仮締めした後、本締めしてください。反対側の肘も同様です。



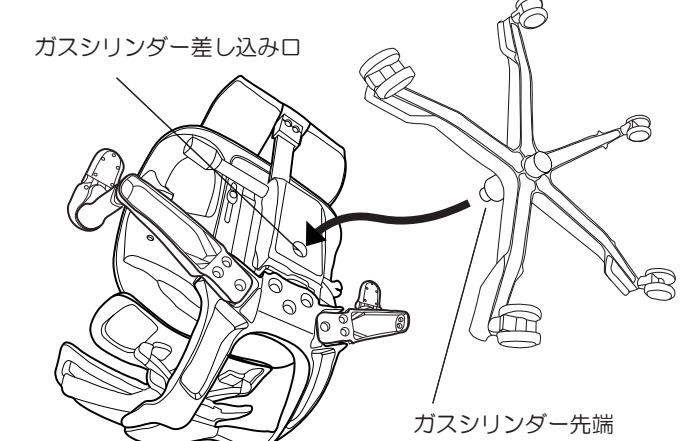
手順5 本体を起こす

手順4で組み立てた状態から⑤キャスターが床に設置するように本体を起こしてください。
※本体を起こす際に、5本脚が落下するおそれがあります。ご注意ください。



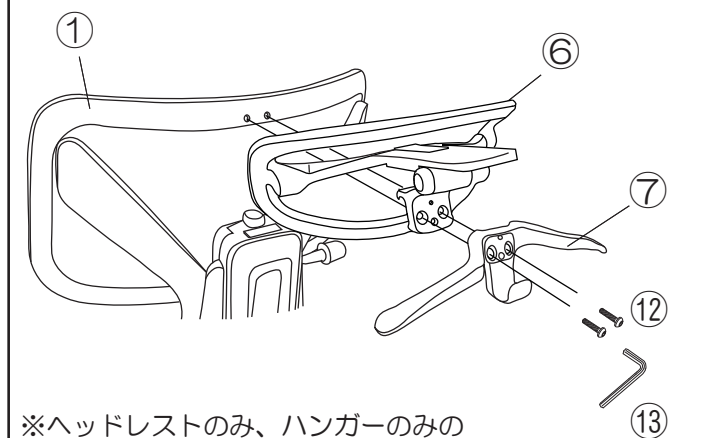
手順4 本体と脚を組み付ける

手順3で組み付けした本体の背を床面に設置するように倒し、座受け金具のガスシリンダー差し込み口に手順1で組み付けしたガスシリンダーの先端をしっかりと差し込んでください。



手順6 ヘッドレストとハンガーを組み付ける

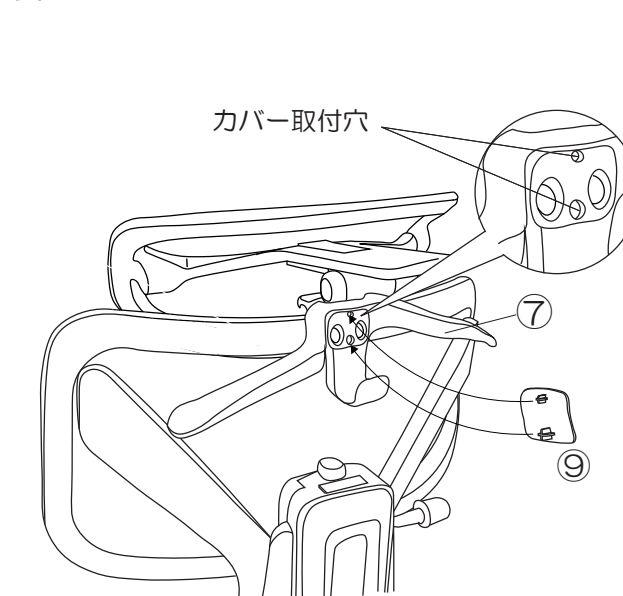
①背の裏面にある穴に⑥ヘッドレストと⑦ハンガーの取付穴を合わせて、⑫固定ボルトCを差し込み、⑬六角レンチを使って仮締めした後、本締めしてください。



※ヘッドレストのみ、ハンガーのみの組み付けはできません。ご注意ください。

手順7 カバーを組み付ける

⑦ハンガーの取付穴に⑨カバーの突起を差し込んで完成です。

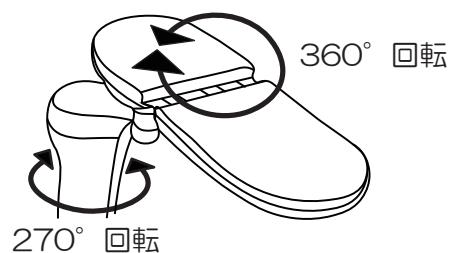


各種機能の使用法

肘の調節

【角度調節】

下図における肘部該当箇所（2箇所）はどちらも回転する仕様になります。
また、レバー操作をすることなく、お好みの角度に調節できます。



【上下調節】

昇降レバーを上へ引き上げた状態で、肘を上下させると8段階の範囲で、お好みの高さに調節することができます。



座の調節

前後調節レバー

昇降レバー

※レバー操作する時は隣のレバーで指などを挟まないように注意してください。

【上下昇降】

座昇降レバーで座の高さを調節できます。

（座を上げるとき）

腰を浮かせて昇降レバーを上へ引き上げ、座が希望の高さまで上がったなら昇降レバーから手を離します。

（座を下げるとき）

座の中央に深く腰掛け昇降レバーを上へ引き上げ、座が希望の高さまで下がったら昇降レバーから手を離します。

【前後スライド調節】

座横にある前後調節レバーを上方向に引きながら座を前後させ、お好みの位置になりましたら、前後調節レバーから手を離してください。7段階で調節ができます。

ヘッドレストの調節

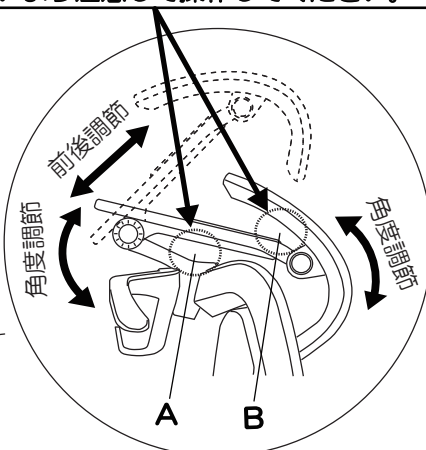
【前後調節】

お好みの方向へ8段階調節することができます。
初期値に戻すときは、前方まで押し切った後、後ろに引くと初期値に戻ります。

【角度調節（2軸分）】

レバー操作をすることなく、お好みの角度で調節することができます。

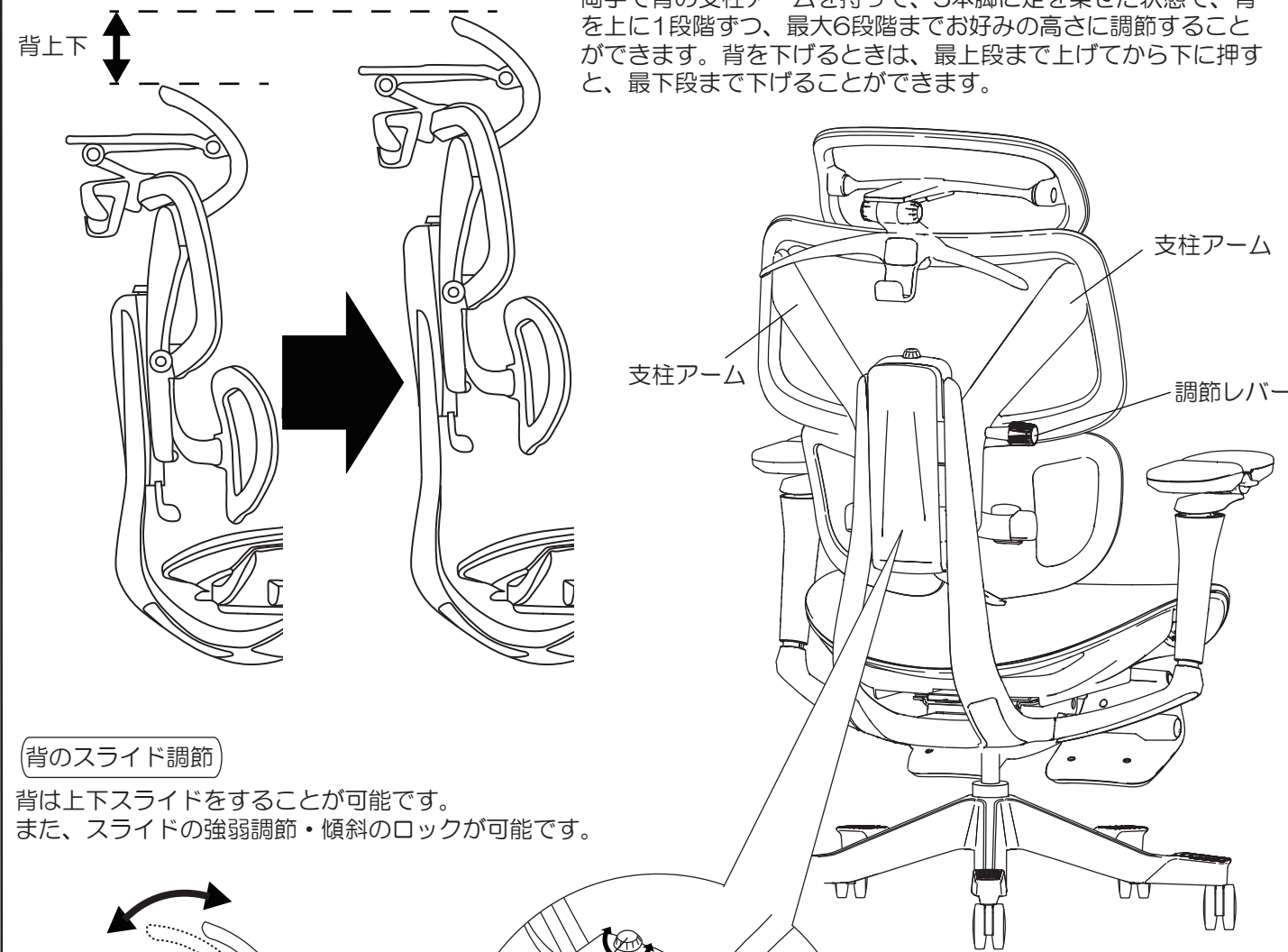
※ヘッドレストの角度を調節する際は、下記A部・B部で指などを挟まないよう注意して操作してください。



各種機能の使用法（つづき）

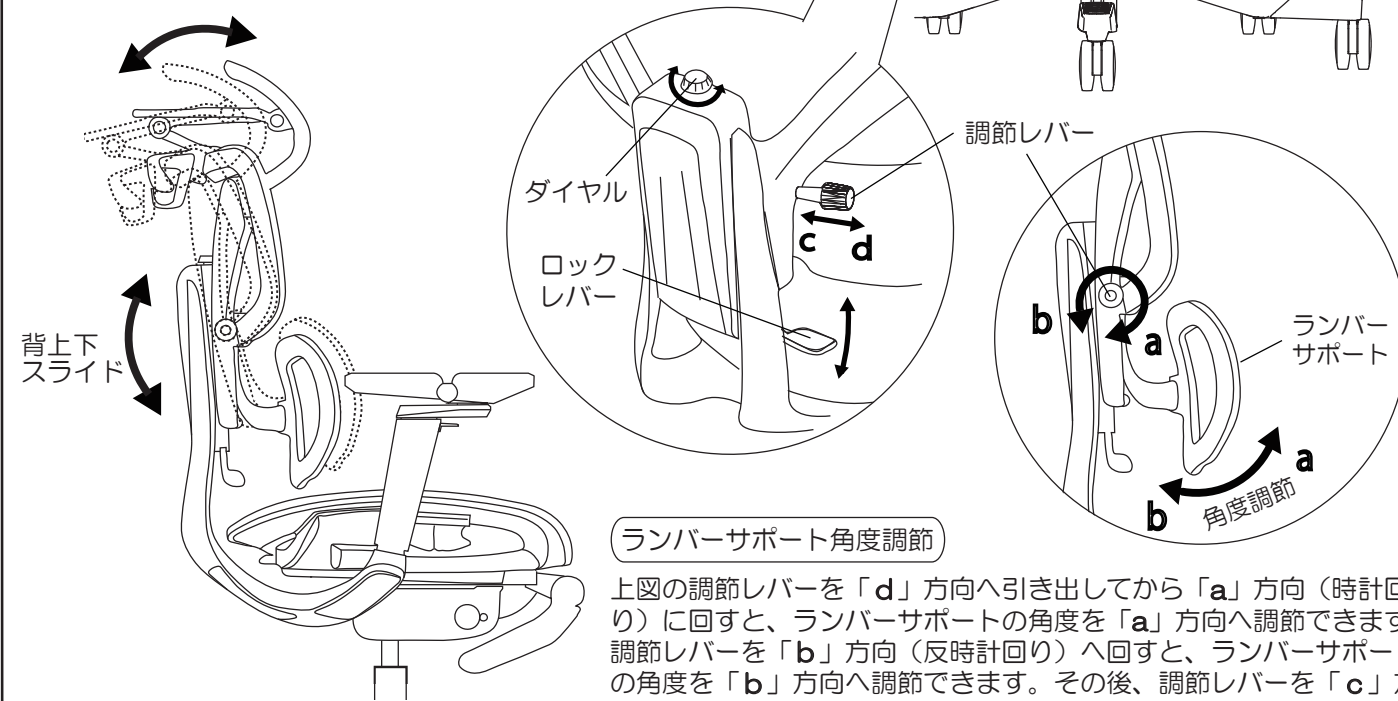
背の上下調節

両手で背の支柱アームを持って、5本脚に足を乗せた状態で、背を上へ1段階ずつ、最大6段階までお好みの高さに調節することができます。背を下げるときは、最上段まで上げてから下に押し、最下段まで下げることができます。



背のスライド調節

背は上下スライドをすることが可能です。
また、スライドの強弱調節・傾斜のロックが可能です。



ランバーサポート角度調節

上図の調節レバーを「d」方向へ引き出してから「a」方向（時計回り）に回すと、ランバーサポートの角度を「a」方向へ調節できます。調節レバーを「b」方向（反時計回り）へ回すと、ランバーサポートの角度を「b」方向へ調節できます。その後、調節レバーを「c」方向へ動かし、収納することもできます。

【背上下スライド強弱調節】

ダイヤルを回すと、背上下スライドの強弱を調節することができます。

【スライドロック】

初期値、または最大傾斜時の状態でロックレバーを下に下げると、背上下スライドをロックすることができます。

【スライドロックの解除方法】

初期値：ロックレバーを上へ上げるとロックが解除されます。
最大傾斜時：ロックレバーを上へ上げた状態にし、背に軽くもたれると「カチッ」と音がして、ロックが解除されます。

各種機能の使用法（つづき）

背もたれロック調整

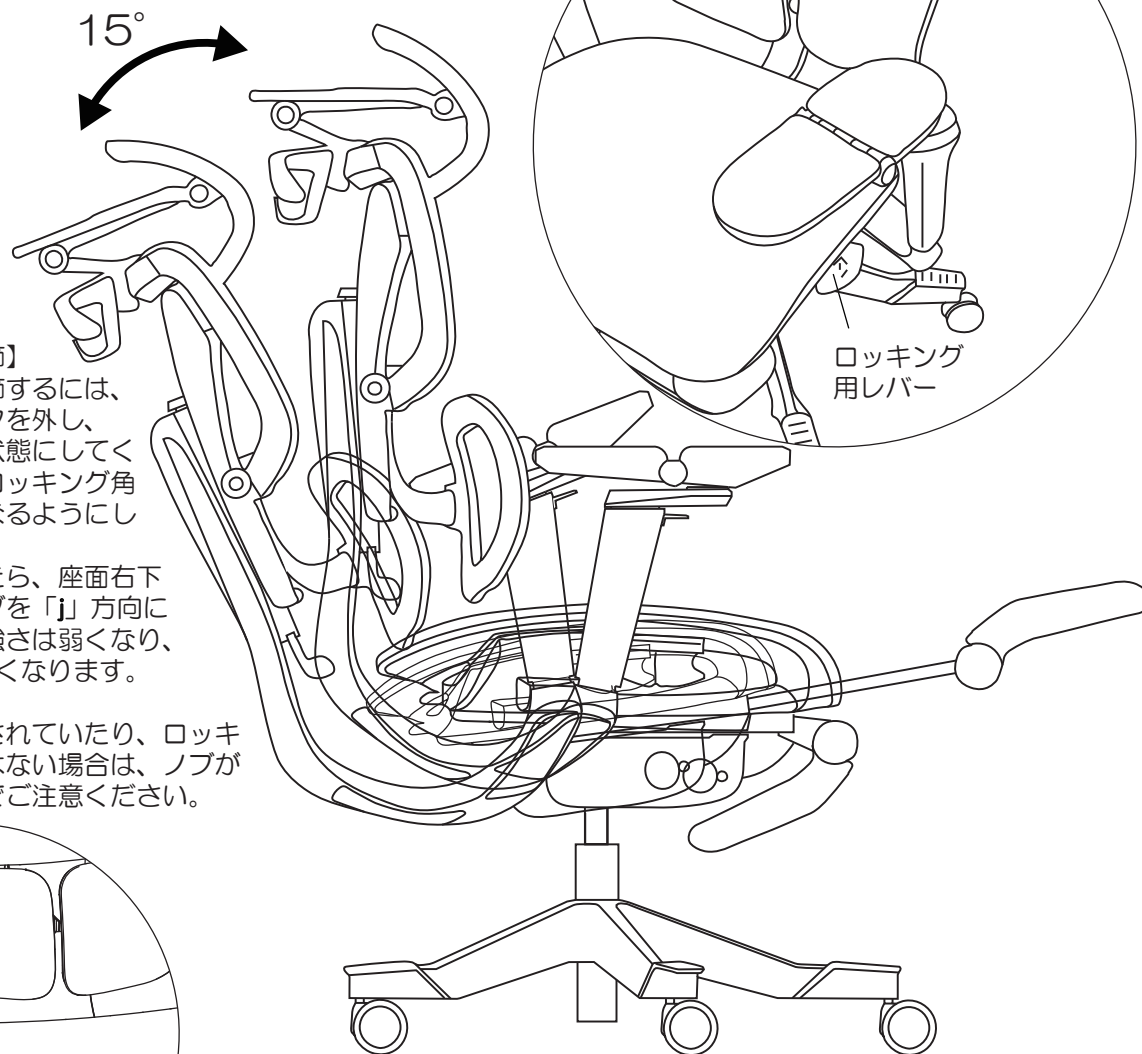
背もたれは4段階（最大15°）に固定できます。

【ロックの固定方法】

ロック用レバーを引き下げた状態で背にもたれて、お好みの角度にし、ロック用レバーを引き上げるとロックが固定されます。

【ロック解除の方法】

ロック用レバーを引き下げた状態にし、背に軽くもたれると「カチッ」という音がして、ロックが解除され、ロックがフリーになります。

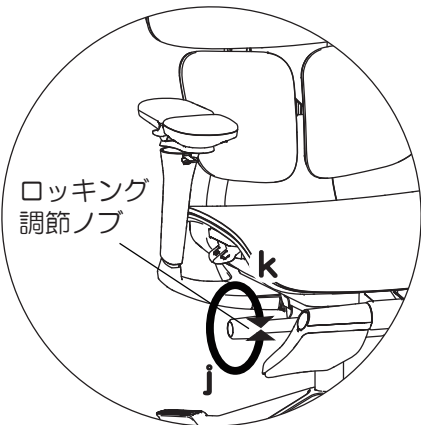


【ロック調整】

ロック調整を調節するには、まず背もたれのロックを外し、ロックフリーの状態にしてください。また、必ずロック角度が初期値の状態になるようにしてください。

その状態になりましたら、座面右下のロック調整ノブを「j」方向に回せば、ロック強さは弱くなり、「k」方向に回せば強くなります。

※ロックが固定されていたり、ロック角度が初期値ではない場合は、ノブが回らない構造ですのでご注意ください。



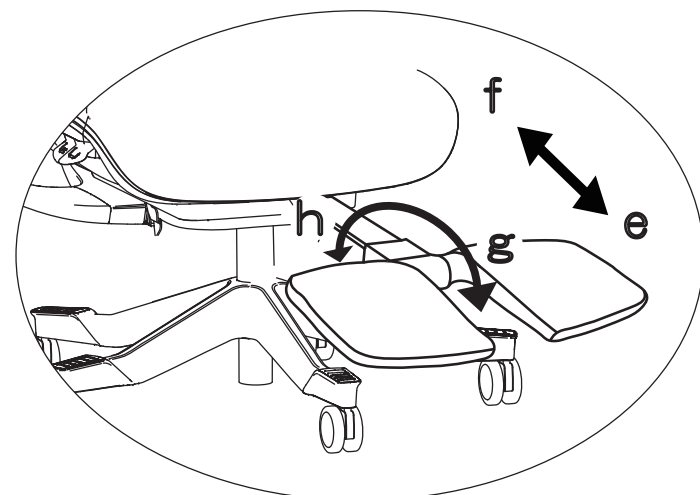
フットレストの展開と収納

（フットレストの展開）

フットレストの中央部を持って「e」方向へ引き出してください。その後フットレストを「g」方向に回転してフットレストのクッションパットを上側にしてください。

（フットレストの収納）

フットレストのフレームを「e」方向に最大まで引き出し、フットレストを「h」方向に回転させ、フットレストの中央部を持って「f」方向に押し込んでください。



製品仕様（品質表示）

MADE IN CHINA

品名	寸法（単位：mm）				質量（kg）
	総幅	総奥行	総高さ	座高さ	
TOKIO PRO	730	780	1210~1280	440~510	26.0
構造部材					
背部	メッシュ張り、PA強化樹脂成型品、PP強化樹脂成型品、アルミ成型品				
座部	メッシュ張り、鋼管溶接構造体（座受け部）				
脚部	アルミ成型品、ガスシリンダー、Φ60mmウレタン双輪キャスター				
肘部	PA強化樹脂成型品、PU樹脂成型品、アルミ成型品				
ヘッドレスト	PA強化樹脂成型品、メッシュ張り				
フットレスト	PA強化樹脂成型品、スチールパイプ、PVC張り				
ハンガー	PP樹脂成型品				

お手入れ方法

●張地の場合

通常は毛足の柔らかいブラシで表面を軽く叩くか、掃除機で縫い目や隙間に入ったホコリを吸い取ってください。汚れた場合には、薄めた中性洗剤を柔らかい布に少量塗布して、軽く叩くようにして拭き取ってください。その後は、少量の水で濡らしたタオルで洗剤分を取り除いてください。

●金属部・樹脂部の場合

通常は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れた場合には、薄めた中性洗剤を使用して拭き取り、その後は固く絞った布〜乾いた布の順で拭き、洗剤分と水分を完全に取り除いてください。

※シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉類は絶対に使用しないでください。

保証期間

目的以外の使用、取扱い上の不注意、乱暴な使用による故障などを除き、1日8時間程度の通常の使用状態における本製品の保証期間

①=1年、②=2年、③=3年

①外観・表面仕上げ（塗装及び樹脂部品の変色褪色、張地の摩耗など）

②可動部（スライド機構、昇降機能などの故障）

③主体構造体の故障

※消耗品は対象外

藤沢工業株式会社 **JOIFA432**

本社：岐阜市日野南 7-1-7

TEL (058) 247-3311

東京：東京都中央区八丁堀 2-20-1 藤和八丁堀ビル4F

TEL (03) 3552-8824

静岡：静岡県藤枝市前島 2丁目28番17号

TEL (054) 634-2102

大阪：大阪府中央区安堂寺町 2-2-11 NTビル7F

TEL (06) 6761-5511

広島：広島市西区東観音町17番18号 同仁ビル2階201号

TEL (082) 291-9725

九州：福岡市博多区山王 1-16-26 筑紫センタービル205

TEL (092) 433-5599

使用上のご注意

【肘パット跳ね上げについて】

下図の肘パット部は、跳ね上げの角度調整が可能です。角度を固定する機能はございません。

また、跳ね上げの保持力が弱くなった場合は、つまみをまわすことで保持力を強くすることは可能ですが、こちらも固定する機能はございません。

よって、つまみを調節して跳ね上げの保持力を強くした場合でも、跳ね上げ角度を固定することができないため、「軽く手を添える」程度の負荷までにとどめてご使用ください。

※本機能は、跳ね上げ時だと強い荷重を支えることはできず、強い荷重によって水平位置まで下がる構造になります。強い荷重がかかる場合は、必ずパットを一番下まで下げてご使用ください。

